

平成 27 年 7 月 10 日

株式会社三菱東京 UFJ 銀行

イスカンダル地域開発庁との業務提携について

株式会社三菱東京 UFJ 銀行（頭取 ひらの のぶゆき 平野 信行）の現地法人であるマレーシア三菱東京 UFJ 銀行は、今般、マレーシアのイスカンダル地域開発庁 Iskandar Regional Development Authority（以下 IRDA）と業務提携に関する覚書を締結いたしました。

IRDA は、2007 年に設立された首相府傘下の投資誘致機関です。同国南部ジョホール地区内にあるイスカンダル地域への投資について幅広く所管し、同地域の発展を目的とした進出企業に対してのソリューション提供などを担っています。

マレーシアは、2020 年までに先進国入りを目指とする「ビジョン 2020」を掲げ、現在、6 つの大型プロジェクトを進めております。イスカンダル地域は、今後も隣接するシンガポールとの同一経済圏として経済発展が期待され、同地域の開発は、6 つのプロジェクトの中でも、投資誘致額 3,820 億リンギット（約 12 兆円）と最大規模を誇ります。

三菱東京 UFJ 銀行は、1957 年にクアラルンプール駐在員事務所（現マレーシア三菱東京 UFJ 銀行）を開設して以来、58 年の歴史を持ち、2008 年には、邦銀で初めてマレーシア中央銀行からイスラム金融業務に関わるライセンスを取得し、イスラム金融業務に取り組むなど、お客さまの多様なニーズにお応えしてまいりました。

本業務提携により、イスカンダル地域開発庁とのビジネス環境や有望なプロジェクトなどに関する情報提供を強化し、同地域での事業展開を検討している日系企業へのサポートを一層充実させてまいります。

以上